

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～
	施策	35 教育環境一絆を深め、地域社会との協働による「共育」を推進しますー
重点プロジェクト	子育てするならふじみ野市・こどもの未来を育むプロジェクト	
総合戦略	ふじみ野市への新しい人の流れをつくる	
主管課	教育部 学校教育課	評価責任者 内田 和明 評価日 令和7年6月2日
関連課	協働推進課、教育総務課、社会教育課	
目標	地域の特性や学校の実態に応じた「地域協働学校」を推進し、学校・家庭・地域との連携・協働による社会総がかりの教育の充実を図ります。	
施策目標の実現に向けた取組	(1) 地域との連携による教育力の向上 ○学校評価を充実させ、保護者や地域の意向を的確に反映した学校運営を支える体制を構築します。 ○学校運営協議会において目指す子ども像を共有し、地域とともにある学校づくりを推進します。 ○地域の人材を発掘・育成するとともに、地域の教育力を活用し、保護者や近隣大学生など地域の人材による小中学校の学習支援ボランティアを充実させます。 ○学校応援団の充実を図るとともに、地域協働学校を推進し、地域との連携を強化した教育を推進します。 ○ホームページや各通信等の情報発信により、地域を巻き込む取組を推進します。	

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	学校評価（地域協働学校への満足度）						
		説明	各小中学校の学校評価アンケート（保護者向け）、地域の人材や教材を活用など地域に根差した開かれた学校づくりが進められているか。」を達成していると答えた割合。						
		単位	%						
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	82.00	82.00	84.00	84.00	86.00	86.00	88.00
		実績値	92.30						
	指標2	指標名	地域協働学校活動参加者数【総合戦略】						
		説明	各学校の地域協働学校活動参加者数。						
		単位	人						
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	2,500	2,600	2,600	2,600	2,700	2,700	2,700
		実績値	2,589						
	指標3	指標名							
		説明							
		単位							
	指標4	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標5	指標名							
		説明							
		単位							
	指標6	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	110,327	0	0	0	0	0	0
	人件費	73,626	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	2,029	0	0	0	0	0	0
	一般財源	181,924	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組① 【総合戦略】 地域協働学校の推進	①令和2年度より全小中学校に学校運営協議会を設置し、地域協働学校と指定した。②地域の実態に応じながら、各地域の教育力を活用し、地域学校協働活動を推進した。③各学校での取組事例の紹介や、コミュニティ・スクール推進に係る国の専門家による委員研修会を実施した。	全校を地域協働学校と指定したことや学校運営協議会や地域学校協働活動の実施により、地域の教育力を活用した教育活動を実施することができたとともに、学校を核とした地域づくりを推進することができた。	地域協働学校（コミュニティ・スクール）推進事業
取組② 就学援助の充実	経済的理由により就学関係費用の負担が困難と認められる児童生徒の保護者に対し就学援助費を、また、特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し特別支援教育就学奨励費を支給した。	電子申請の受付開始によるDX化を促進し、申請手続きにおける保護者負担の軽減や事務の効率化を図るとともに、外国籍などの保護者への十分な制度周知を実施するため、「やさしい日本語」による説明文書を配布の上、申請勧奨を行った。	就学援助・奨励事業
取組③			
取組④			
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	学校、家庭、地域及び市長部局と連携し「地域とともにある学校づくり」を協働して推進した。
順調	令和6年度は、学校運営協議会及び地域学校協働活動による地域の教育力を活用した教育活動や、学校を核とした地域づくりを推進することができた。また、中学校区単位での情報共有の場や合同会議の開催により小中学校のネットワーク化も継続して実施した。
行政資源の活用	令和7年度の東台小学校と東原小学校の統合に向けた統合準備委員会で、両校の保護者や学校運営協議会委員等が一体となり、統合後の学校に児童が安心して通える環境整備を推進したことにより、保護者や地域の思いや願いを反映した学校適正規模の課題解決を実現することができた。
適切	今後も学校運営協議会と地域学校協働ネットワークの両輪による地域協働学校の取組を推進すべく、各種研修会を計画的に実施し、各学校区における取組事例の共有と学校間のネットワークを広げていく。
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
大きな効果が得られている	